

次回の第38号は、1日遅れの10月4日(水)に発行します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

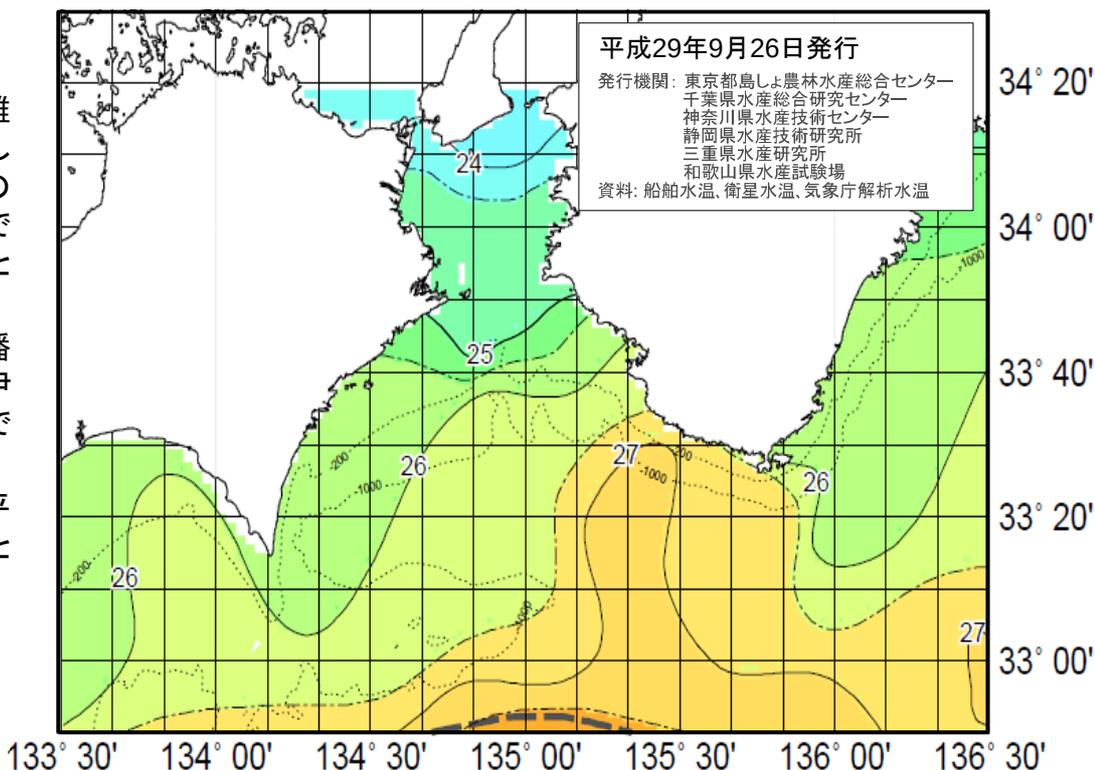
## 海況

### 1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では「離岸」～「やや離岸」で推移した。潮岬沖では前号時点の「やや離岸」から離岸傾向で推移し25日頃から「離岸」となった模様。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で24℃～25℃台、紀伊水道で24℃台、海部沿岸で24℃～25℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は平年並みの27℃～28℃台となっている。

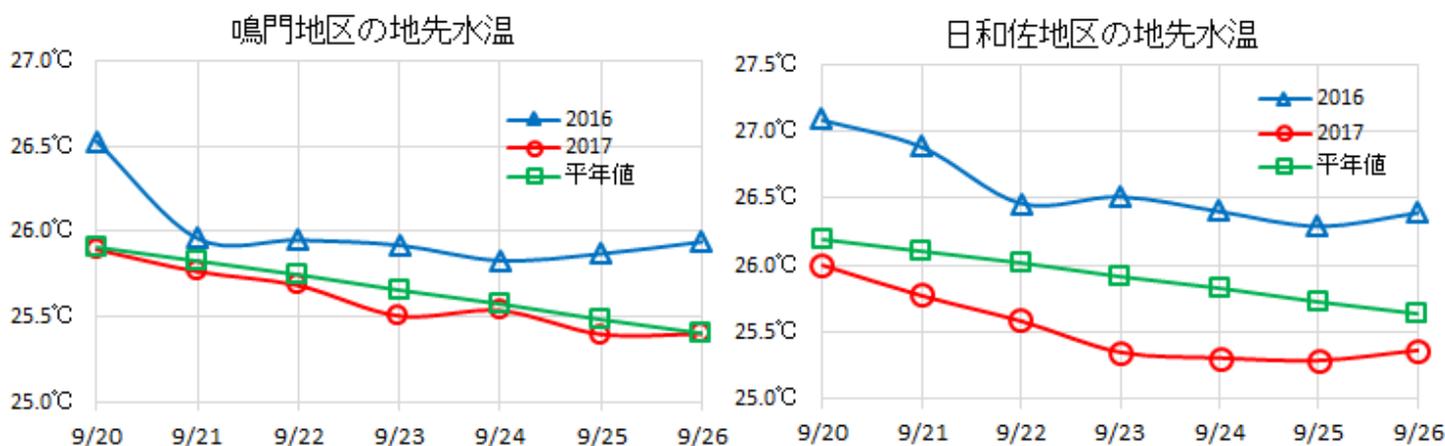


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

### 2. 地先水温(9月20日～9月26日)

鳴門地区の地先水温は、期間を通じて「平年並み」で、25.9℃から25.4℃と緩やかに低下した。

日和佐地区の地先水温は、26.0～25.3℃で推移した。期間始め「平年並み」であったが、水温低下のペースが平年より速く23日には「やや低め」となった。その後水温は横ばいとなり、25日以降は「平年並み」となっている。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

### 3. 週間予報(9月27日～10月4日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「やや離岸」～「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の25℃台、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の26℃前後で推移する見込み。

**漁況** 2017年9月18日～9月24日（旧暦7月28日～8月5日）

9月16日にイセエビ建網が解禁され、多くの漁協で20日に今漁期の初水揚げとなった。  
 海部沿岸ではカツオ、キハダマグロ釣りが盛況。 ※イセエビは漁獲集計の対象外。

**1. 紀伊水道(標本漁協数:3)**

船びき網では、シラスが大きく増えて40.5ト水揚げされた。  
 延縄では、サワラが増えて5.5ト、ハモが前週並みの1.4ト、タチウオが増えて1.0ト水揚げされた。  
 建網では、カワハギが大主体に0.5ト水揚げされた。  
 小型定置網では、ブリが増えてつばすサイズ主体に0.5ト、マアジが増えて0.5ト水揚げされた。  
 底びき網では、ハモが前週並みの2.6ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸(標本漁協数:4)**

釣りでは、カツオが大きく増えて10.9ト、キハダマグロも大きく増えて小型主体に1.2ト水揚げされた。  
 延縄では、キダイが増えて大主体に0.4ト水揚げされた。  
 建網では、カワハギが0.3ト水揚げされた。  
 小型定置網では、ウルメイワシが大きく増えて1.0ト、マイワシも大きく増えて0.5ト、かます類が大きく減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	108	シラス	40,500	375		↗↗
	延縄	51	サワラ	5,462	107	大主体	↗
		14	ハモ	1,352	97		→
		51	タチウオ	1,022	20		↗
	建網	52	カワハギ	498	10	大主体	↗↗
	小型定置網	20	ブリ	549	27	つばす主体	↗
		18	マアジ	512	28	小小主体	↗
		25	ヘダイ	445	18		↗↗
		20	カンパチ	293	15		→
		18	マルアジ	241	13		↗
底びき網	28	ハモ	2,551	91		→	
海部沿岸	釣り	25	カツオ	10,928	437		↗↗
		19	キハダマグロ	1,215	64	小型主体	↗↗
		16	タチウオ	274	17		↗↗
		10	シイラ	265	26		↗↗
	延縄	24	キダイ	433	18	大主体	↗
	建網	119	カワハギ	325	3		↗↗
	小型定置網	5	ウルメイワシ	975	195		↗↗
		3	マイワシ	474	158		↗↗
		4	かます類	292	73		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘